

伊予三島ロータリークラブ



2016-2017
WEEKLY



具定展望台より四国中央市を望む

人間に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

2016-17年度国際ロータリー会長

事務局 四国中央市金生町下分865 四国中央商工会議所内
http://www.iyomishima-rc.jp TEL(0896) 58-3530
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX(0896) 58-6294
例会 金曜日 12:10~13:10
■会長/井原 伸 ■幹事/今村定生 ■広報委員長/石川 勉

No. 19

平成 28.11.4

第 3011 回

ロータリー財団委員会 公益財団法人 伊予三島奨学会について



伊予三島奨学会 事務局長 田辺 敏文

教育委員会管理部教育総務課の田辺でございます。公益財団法人伊予三島奨学会の事務局長をさせていただいております。どうかよろしくお願いたします。

日頃、伊予三島ロータリークラブの皆様には青少年の健全育成をはじめ、色々と教育行政にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、公益財団法人伊予三島奨学会の取り組みについてお話をとのご依頼がございましたので参っております。

まず私からごあいさつをかねまして、伊予三島奨学会の歴史、概要等を少しお話させていただいた後、担当の宮崎から、奨学金についての少し詳しい制度概要、また、全国的な奨学金制度の課題、現状等についても話をさせていただいたらと考えておりますのでよろしくお願いたします。

さて、奨学金制度の歴史は古く、戦後、国においては、新しい教育制度施行のもと育英事業をス

タートさせ、県においてもその後奨学制度ができました。しかし、奨学生としての採用枠が厳しく、その当時は恩典に授かる者も少なく限られておったようでございます。

このような状況を憂慮された「伊予三島ロータリークラブの会員さま」をはじめ、市内の篤志家の方々によりまして、昭和41年に奨学会設立に向けて募金が始まったように伺っております。そして、準備期間を経て、昭和43年に財団法人伊予三島奨学会が設立され貸付事業を開始しております。その後平成24年に公益財団法人化され現在に至っておりますが、四国中央市民に大きな教育的財産を残す結果となっておりまして、今日に至りなお献身的なご奉仕にご尽力しておられることに対しまして、心から敬意を表する次第でございます。現在も、ロータリークラブ会員様の中で、篠永様、曾我様、高岡様、森實様には、理事や幹事として大変ご尽力を賜っておりますし、外にも、過去に役員をしていただいた方もいらっしゃいます。この場をお借りしてお礼を申し述べたいと思います。本当にありがとうございます。

さて、皆様方のご寄付等によりまして、現在の伊予三島奨学会の総資産額は、約2億4,200万円（定期預金等の基本財産が約1億5,000万円、奨学金貸与金等の特定資産が約9,200万円）となっており、財務的にも堅実な運営が行われていると考えております。

奨学金貸与者については、昭和43年からこれまでの間で、484人となっております。本年度、平成28年度での奨学金の新規募集の人数は、高校生等で2人、また大学短大生等で9人以内の予定としておりまして、今なお進学への援助に大きな役割を果たしているところでございます。

私からは以上でございますが、ここからは担当宮崎から、もう少し詳しく奨学金制度の概要及び奨学金を取り巻く全国的な状況等についてお話をさせていただいたと思います。ありがとうございました。



伊予三島奨学会 事務局 宮崎 卓哉

事務局の宮崎です。それでは私からまず、公益財団法人伊予三島奨学会の制度概要についてご説明させていただきます。奨学金貸与金額につきましては、月額で大学生（短大・専門学校）奨学生は3万円、高等学校、高等専門学校奨学生は1万5千円となっております。募集人数については、今年度においては大学生9名、高校生2名となっております。募集方法につきましては、広報、ホームページで案内の他、市内の各学校に申込み申請のご案内を完了しておりまして、1月が応募の締め切りとなっております。返還方法につきましては、例えば大学生であれば、月額3万円を4年間貸与致しますが、卒業後、月額1万5千円を8年間で、月賦、年賦等で返還していただくことになっております。

次に、奨学金制度の概要及び奨学金を取り巻く全国的な状況等についてご説明申し上げます。先日、ニッポン一億総活躍プランのひとつの取り組みとし、また、与野党とも公約とされております月額3万円の給付型奨学金を1年前倒し、創設する案が報道されたところです。その内容につきましては、対象は、生活保護世帯、住民税非課税世帯で対象高校3年生は16万人、成績を4以上とすると1万6千人対象となり、年間100億の予算が必要となっております。

給付型奨学金制度を創設する背景・目的・効果についてでございますが、奨学金は、社会保障というイメージが強くなりますが、高度な産業・事業を構築する、発展を期待するうえでも大学等での高度な知識の修得が必要となってまいります。また、産業が発展すれば、2.9兆円もの税収に入ってくる、税収というか、経済効果があるというデータもあり、そうなるまいりますと、今度は具体的に高学歴に見合う所得となりますので、生活水準があがり、社会保障などの支出が減り、トータル4兆円の経済効果があるということも報道されております。

また、奨学金制度は、各家庭、保護者の問題ではなく社会全体のところを見ないとだめであるということも議論されております。

給付型奨学金についてですが、返還義務のない奨学金です。世界的には多く採用されております。例えば、アメリカの青春映画でもよく見かけるシーンです。また、アメリカの学費は日本の4倍と高額ですが生活費もカバーできる制度もあるようです。北欧においては、社会保障で対応し学費が無料となっているところもあるようです。

貸与型奨学金は、奨学生が債務者となり、通常はご両親が連帯保証人・保証人になられます。あくまで、貸与ということですので、このような対応となります。

次に具体的に貸与型から給付型へ切望されている状況についてご説明致します。
決算承認をいただく、6月評議員会の数日前のことです。ご覧になられた方もおられると思いますが、クローズアップ現代「奨学金破産の衝撃」という番組が放映されました。奨学会の事務局と致しましても本当に衝撃的でした。

内容は、子どもの笑顔が好きで保育士をめざし、夢をかなえるため家庭の経済事情により日本学生支援機構の奨学金を600万円（月10万の奨学金）利用し夢はかなえた女性ですが、保育士は非正規で月14万円の給料であり、家賃6万円を引いた残金では将来にわたり、600万円の返済（月5万円）の返済は不可能となり、弁護士事務所で自己破産手続きを進める内容でした。また、自己破産で終わりではなく、連帯保証人、保証人に債務は移動していきます。滞納している人への督促の仕組みです。返済予定日を過ぎますと、5%の延滞金が上乘せされます。延滞が3か月続くと、個人信用情報機関に登録。一定期間、クレジットカードの使用が制限されます。それでも返済できずにいると、債権を回収する専門の会社が督促に乗り出します。最終的には裁判所から一括返済を求める督促通知が届くこととなります。裁判所から督促を求められたケースは、年間で8,400件ほど。この10年で40倍に増えています。一括で支払いできない場合、自己破産しか選択肢がないという人も少なくありません。

番組の最後では「日本社会全体の問題として、以前のように終身雇用制だったら安定した収入がありましたから、返せたんですけども。今のように非正規の方が多くなって、返せないという人も増えているという、これが一番根本の問題です。奨学金の問題だけじゃなくて、社会全体の問題なんです。日本の場合には、親が子どもの教育に責任を持つという考え方が非常に強いので、家族全体で考えるということになってしまう。それが一番、逆にいうと、社会が支えるっていう考え方にならない部分なんです。」という内容でした。

その番組については、井川理事長もご覧になられており、伊予三島奨学会の評議員会において、また、顧問であります篠原市長の挨拶でも、今後、奨学会の運営・制度について検討していかねばならない時期であるとお話があったところです。

次に、日本学生支援機構（旧育英会）奨学金制度及び状況についてご説明致します。
貸与型であり無利子、有利子のものがございます。現在の奨学金制度は貸与型でありますので、無利子、有利子教育ローンとなっております。132万人の学生に1兆円以上の奨学金を貸与しています。学生の4割が利用し、他の奨学金を利用されているかたとあわせると5割、2人に1人が奨学金を利用している現状がございます。どちらの奨学会でも奨学生の資格については、人物とも優秀で学資の支弁が困難なものとして規定されていますので、つまりは、現在学生の保護者の5割は経済的な問題を抱えているということになります。2007時点で滞納額は660億円になっています。2016年以降改善がみられない大学は公表予定となっているようです。ここ数年、回収の強化に努めています。

次に学費、大学生・保護者の状況について説明いたします。
学費については 私立 86万円、国立 53万円となっております。東京地区私立大学教職員組合連合によりますと、首都圏の私立大に2015年春に入学した下宿生への仕送り額（6月以降の月平均）が前年度より1800円少ない8万6700円で、15年連続で減少したとの調査結果を発表しています。ピーク時の1994年度（12万4900円）に比べ約3割減少しており、86年度の調査開始以来、過去最低を更新したとのことでございます。

全国の平均年収は420万円となっておりますが、下宿生の保護者の平均年収は1.4%増の900万9千円。ただ、13年度に比べると5千円減少しています。東京私大教連は「年収が伸び悩み家計は苦しく、仕送りが減っている」と指摘しています。

家賃平均は前年度比400円減少の6万1200円。仕送り額から家賃を差し引いた生活費は1日850円と、前年度から47円減少し過去最低を更新。東京私大教連は「学生がアルバイトをせざるを得ず、学業にも影響が出ている」と指摘し、無利子奨学金を希望者全員が受給できるようにすることなど

を国に求めたとのこと。奨学生をとりまく状況については以上でございます。
最後になりますが、現在、公益財団法人伊予三島奨学会といたしましては、今後も財産運用等は現在の金利情勢では期待できないため、ご寄附のみが財源の基盤となっております。慈愛溢れるロータリーの奉仕の精神が伊予三島奨学会にいきつづけていることに感謝しつつ、また、今後ともご厚情いただきますようお願い申し上げます。簡単ですが、お話を終わらせていただきます。

第3011回 例会 記 録 平成28年11月4日

開会 井原 伸 会長 日時 平成29年4月14日(金) 記念ゴルフ大会
15日(土) 会長幹事会、
来賓紹介 伊予三島奨学会 本会議1日目、懇親会
事務局 田辺敏文氏 16日(日) 本会議2日目
事務局 宮崎卓哉氏
会場 サンポート高松他
締切日 12月10日(土)

出席報告 出席会員(34名中) 28名
出席率 87.50%
例会行事
ロータリー財団委員会 高岡 淳 副委員長
『伊予三島奨学会について』田辺敏文氏
宮崎卓哉氏

会長の時間
○誕生日お祝い ニコニコ紹介
井原 伸君(2日)、園部忠幸君(19日) 誕生 祝～井原 伸君、園部忠幸君、
井原明子様(3日)、高岡智恵美様(14日) 井原明子様、高岡智恵美様、
今村栄子様(26日)、久米初江様(26日) 今村栄子様、久米初江様

○結婚記念日お祝い 結婚記念祝～桂 高司君、宮崎茂喜君、
合田節男御夫妻(54年)、桂 高司御夫妻(42年) 園部忠幸君、篠原聡一君、
宮崎茂喜御夫妻(37年)、園部忠幸御夫妻(35年) 秋山雅彦君
篠原聡一御夫妻(35年)、秋山雅彦御夫妻(22年)

○出席表彰 出席表彰～白石英之君
白石英之君(1年)

幹事報告
・前田直俊 ガバナー～
2016-2017年度地区大会(仮登録)のご案内
11月25日プログラム予定
ロータリー情報委員会
(定例理事会)

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた、職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。